



令和7年 7月 1日
目黒区立ひもんや保育園長

2歳児クラスでは、給食を先に食べ終えた子が自分のお気に入りの人形を午睡コットに連れていくと、次は友達のお気に入りも運びます。〇〇ちゃんはこちら、〇〇ちゃんはこちら、と順に人形をコットに寝かせます。周りの子どもご飯を食べながら自分のお気に入りの人形がちゃんと届けられていく様子を見て、無事届けられると“そうそう”と頷くのです。もちろん、いつもこうではなく「自分で運びたかったー！」という時もあります。またある時は、いろいろな色の人形を並べている友達に一人の子が「〇〇君、青好きでしょ？」と青い人形を差し出すと、いらないと首をふられたのでその人形を床に置きました。直後にやっぱり使うことにしたようで、青い人形を持っていく様子を見て“あ、そうなのね”と言葉はなくても心で相手の思いを感じているかのようでした。友達の好きなことや好きなもの、してくれていることが分かる関係に広がっているのだと成長を感じます。

先日、乳児クラスの職員で、こんな風に友達を認められる姿になるには、何が大切なのだろう？と話し合いました。0歳児の頃から言葉にならない思いを分かってもらえる経験が大事なのではないか、一人ひとりの気持ちを大事にしたい…など私たちの保育を振り返るきっかけにもなりました。これからも日々子どもたちの姿を通し職員皆で保育を考えていきたいと思えます。

7月・8月の行事予定

プール開き
七夕
プール終い
中旬 避難訓練・身体計測



ピーマン収穫 ～2・3歳児クラス～

ピーマンを収穫して、目の前で調理して食べました。種は匂いを嗅いだり、触ってみたりして「これは硬いね、食べられないよ。」「ピーマンの匂いがするね」と感想をロクに話していました。「ピーマンの中ってこんなつぶつぶが入ってるんだね、もしかしてこれ種じゃない？」と発見も楽しんでいました。



ピーマンの
匂いするね



じゅーじゅーって
おいしい音がする

おいしいから
ぜーんぶ
たべちゃお



おまつりごっこ



イカ焼きや

太鼓の達人



ボールでポン



タッチゲーム



水のいきもの



お茶よしだや

ちよこばなな



ぶち合わせ太鼓

0～5 歳児クラス皆でおまつりごっこに参加して楽しみました。
お店でのやりとりを楽しんだ後は、クラスでもお店を再現して楽しんでいます。

たんぼぼ組 (3 歳児クラス)

当日部屋に戻ってすぐ、部屋にあるものを使って再現遊びが始まりました。お手玉はフランクフルトに、チェーンリングは焼きそばになって“あれもやりたい”“これもやりたい”と大忙しです。屋台の職員のハチマキが印象的だったようで「頭に何かつけてたね」と一人の子がままごとの布を巻くと、皆が真似っこします。魚つりでは“釣竿どうしよう”ということになり、ブロック、チェーンリング、フェルト、洗濯バサミ等を駆使して複雑な形の竿が完成しました。早速魚つりを始めると「すごいねー、釣れたね」とお店をやっていた職員の声掛けを真似て友達とやりとりをしていました。

すずらん組 (1 歳児クラス)

おまつりごっこから室内に戻ると一人の子がベンチの上にチェーンリングをのせ、広げ始めました。どうするのかなと保育士が様子を見守っていると、フィルムケースの長い玩具を両手に持って混ぜ合わせていました。フィルムケースはきっと Tongue でこれは焼きそばやさんの再現だ！と思った保育士が「1つくださいな」とお皿を持って言うと、嬉しそうに顔を上げて「どうじょー」と手でお皿に入れ、満足そうに職員が食べるのを見ていました。

ひまわり組 (5 歳児クラス)

おまつりごっこでぶち合わせ太鼓を見てから、太鼓の達人コーナーで使ったタイヤ太鼓を使って早速練習を始めました。真剣な表情で構えのポーズや「すっとなすっとな」の掛け声まで完全に再現したいようです。そのうち太鼓のメンバーが増え「そーれ！」と息を合わせて体系移動のチャレンジもしています。3人でのぶち合わせ太鼓を再現する中、他にやりたい子が出てきて数が増えると「どうしようかなあ」と言いながら他の役割を考えています。「小太鼓がいた！」と思い出し、締め太鼓役になってもらっていました。お客さんがくると掛け声も要求してはりきって叩く子どもたちです。